

第43回 教会音楽講習会

2026年10月17日(土)～18日(日)

「キリスト教音楽と日本」

～グレゴリオ聖歌と会衆歌の日本との邂逅～

キリスト教はおよそ2千年前、東ローマ帝国の東端、現在中東と呼ばれている地域に芽生え、その後、紆余曲折を経て世界に広がってゆきました。伝播した当地の文化要素を大胆に取り入れる一方、当地の文化にも影響を与えつつ、さまざまな文化交流のうねりをもたらして今日に至っているといえましょう。

今回の講習会では、キリスト教音楽の主に明治期以降の日本への伝来の様相に焦点をあて、日本におけるキリスト教音楽の現在地を確かめるとともに、これからのキリスト教音楽のあり方をも展望したいと思います。

本年2月、聖グレゴリオの家は、昨年9月に『日本の教会に響く歌：カトリック会衆歌の系譜と意義』（桜美林大学出版会）を出版された新進気鋭の音楽学者松橋輝子氏を講師に迎え、「日本の教会に響く歌～日本語で賛美するということ～」と題する研究部門主催の講演会を開催し、ご好評をいただきました。この反響を受け、再び松橋輝子氏にご登壇いただき、「キリスト教音楽はどのように日本に根づいたか」というタイトルでご講演をいただく予定です。

明治期以降、カトリック教会に再び新たに導入された歌のもう一つの翼は、グレゴリオ聖歌でありましょう。今年は、グレゴリオ聖歌の専門書として広く読まれた水嶋良雄『グレゴリオ聖歌』（音楽の友社、1966年）の発刊から60年の年にあたります。一方、今年刊行30年を迎える岳野慶作『グレゴリオ聖歌のこころ：その霊性の探究』（創風社、1996年）は、岳野氏が上智大学を経て愛媛県の聖カタリナ女子短期大学（現・聖カタリナ大学短期大学部）で教鞭をとっておられた頃に始まった私的研究会「アカデミア・グレゴリアーナ」の講義録が、ご逝去後に編纂された著作です。今回は、哲学者岳野慶作の捉えたグレゴリオ聖歌の霊性をご一緒に学びたいと思います。

毎年恒例の主日礼拝（主日のミサ）と晩の祈りのための聖歌練習もごさいます。丁寧な解説付きですのでグレゴリオ聖歌は初めてという方もどうぞご参加ください。

■第 43 回教会音楽講習会 講義内容

講義：「キリスト教音楽はどのように日本に根づいたか」 松橋 輝子

講義：「岳野慶作『グレゴリオ聖歌のこころ：その霊性の探究』出版 30 年に寄せて」…… 西脇 純

【年間第 29 主日ミサ・晩の祈りの実践】…………… 鈴木 菜穂子・上出 朝子

【初心者のためのグレゴリオ聖歌講座】(希望者のみ)…………… 鈴木 菜穂子

第43回講習会スケジュール 10月17日(土)～10月18日(日)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
17 日 (土)	9:00～ 受付 9:20～ 初心者コース (希望者)	10:00～ オリエンテーション 10:10～12:00 ミサの練習①	12:00～ 昼休み	13:00～15:00 講義 「キリスト教育案はどの ように日本に根づいたか」 講師：松橋 輝子 15:00～15:30 休憩			15:30～17:00 晩の祈りの練習 17:00～17:30 休憩		17:30～ 晩の祈り	解散	20:00～ 寝る前の 祈り (コンプレ トリウム) (希望者)	
18 日 (日)		10:00～12:00 講義 『グレゴリオ聖歌の こころ:その霊性の探 究』出版 30 年に寄せ て」 講師：西脇 純	12:00～ 昼休み	13:00～14:00 ミサの練習②	14:00～ ミサの準備 14:30～ 年間第 29 主日ミサ			解散				

※ミサはどなたでもご参加いただけます。

◆スケジュールは当日の状況により変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

【募集要項】

◆費用：受講料

〈全日参加〉

●一般 16,000円

●賛助会、友の会 14,000円

〈1 日参加〉

●17 日(土) 一般 12,000円

賛助会・友の会 10,000円

●18 日(日) 一般 6,000円

賛助会・友の会 5,000円

*いずれも食事代は含まれません。

◆参加資格：グレゴリオ聖歌／典礼に興味のある方ならどなたでも参加できます。

宗教、教派、年齢、音楽経験は問いません。

【その他】

◆宿泊について 宿泊はできません。

◆食事について 食費は受講料に含まれていません。
ご希望の方にはお弁当のデリバリーを承りますので、申込書にご記入ください。

◆持ち物 受講票、筆記用具、上履き

◆申込方法： 下記(1)(2)のいずれかの方法でお手続きください。
1) 申込書に必要事項を記入の上、メール、郵送または FAX してください。
受講料、お弁当代の合計金額をお振り込みください。
2) 申込書、受講料他の代金を事務所窓口まで直接持参してください。

*** 申込書と入金を確認後、受講票をお送りします。**

振込先

ゆうちょ銀行 口座番号／00120-8-61673

加入者名／宗教法人 聖グレゴリオの家

《他金融機関からの振込用口座番号》

〇一九(ゼロイチキュウ)店(019) 当座 0061673

*** 振込用紙に「教会音楽講習会」と明記してください。**

*** 一旦お支払いいただいた受講料は原則として返金できません。**

◆申込締切り：**10 月 9 日(金)**

◆申込先： 聖グレゴリオの家・教会音楽講習会係
Email：info@st-gregorio.or.jp
〒203-0004 東京都東久留米市氷川台 2-7-12
Tel 042-474-8915（平日(月～土)9:00～17:00）
Fax 042-474-8832（24 時間受付）

【講師 松橋 輝子】

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科音楽文化学専攻音楽学研究分野博士課程修了。2022年3月に博士号（音楽学）取得。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。イエール大学にて研鑽を積む。2019年度カトリック大学連盟奨学生。2020年4月から2022年3月まで日本学術振興会特別研究員（DC2）。

現在、東京藝術大学非常勤講師、桜美林大学非常勤講師、日本女子体育大学非常勤講師を務める。

主著に『日本の教会に響く歌——カトリック会衆歌の系譜と意義』（桜美林大学叢書、2025年9月）、論文に「カトリック教会の会衆歌の歴史」「近年の研究動向からみる日本におけるキリスト教音楽研究の行方」（共著）他がある。キリスト教系のウェブマガジン「AMOR—ひだまりの丘」において「聖歌の宝」を連載中。

【講師 西脇 純】

南山大学神学部卒業、同大学院文学研究科神学専攻博士前期課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。ドイツ・在ローリア教皇庁認可神学部博士課程修了（神学博士）。南山大学（2000～2018）、聖グレゴリオの家宗教音楽研究所（2018～2020）を経て、2021年より、西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授。日本グレゴリオ聖歌学会会長。2024年6月、聖グレゴリオの家理事長に就任。

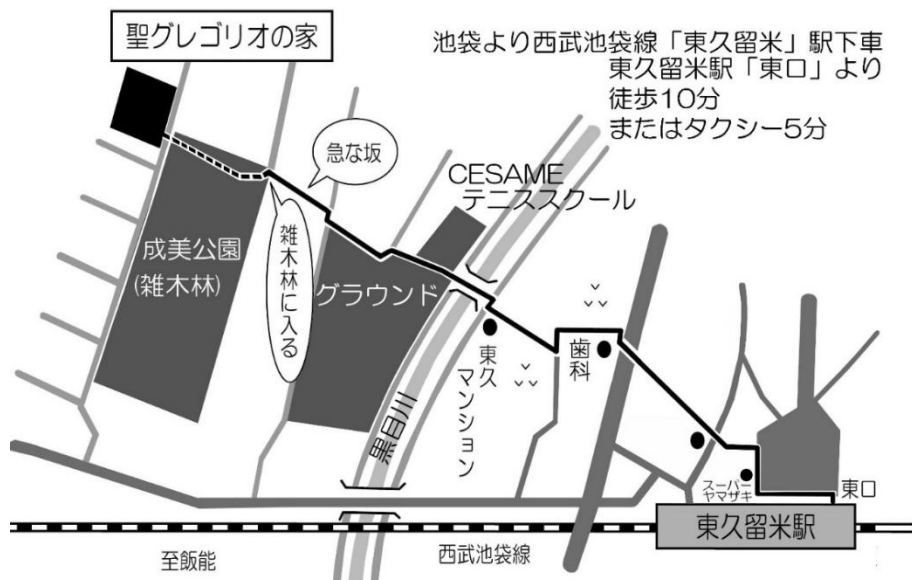
【講師 鈴木 菜穂子】

武蔵野音楽大学声楽科卒業。東京合唱協会、日本合唱協会に所属後、聖グレゴリオの家で橋本周子氏に声楽、グレゴリオ聖歌、宗教音楽を学ぶ。カペラ・グレゴリアーナ・ファヴォリートのメンバーとして活動、2008年以降にヴァーツ国際グレゴリオ聖歌フェスティバルに参加。現在、カトリック成城教会オルガニスト、聖歌隊指揮を担当する傍ら、数々の教会で演奏活動をおこなっている。

【講師 上出 朝子】

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。卒業後、日本合唱協会に所属。1991年より聖グレゴリオの家聖歌隊に所属。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所教会音楽科、及び専攻科修了。現在、同研究所講師。

グレゴリオ聖歌を橋本周子氏に師事。2011年よりG.ヨッピー氏によるグレゴリオ聖歌講習会、2017年ヴァーツ国際グレゴリオ聖歌フェスティバルに参加。現在、日本グレゴリオ聖歌学会理事。



聖グレゴリオの家 HP